

目次

- 他産業との賃金格差顕著に 厚労省…3面
- 生活クラブ、介護保険の改善訴え…5面
- 介護事故防止へガイドライン改訂…6面
- 通信機能付き福祉用具、市場調査へ…7面

シルバー新報

発行所：環境新聞社 東京都新宿区四谷 3-1-3 (第一富澤ビル) 電話 03 (3359) 5372
 大阪府中央区久太郎町 3-1-15 (メビウスビル) 電話 06 (6252) 5895

2025年 (令和7年)
 11月21日
 (金曜日)

介護の文化を創る専門紙
 年間購読料 25,300円 (税込)

(第3種郵便物認可)

シルバー新報

2025年(令和7年)11月21日(金曜日)

2

その人に合ったリハビリ提供のために

東京都足立区の超強化型の老健施設「イルアカーサ」を運営する社会医療法人慈生会(足立区、伊藤雅史理事長)は、急性期病院から回復期病院、介護施設、在宅サービスなどの医療機関・介護事業所を総合的に運営し、急性期から生活期に至るまでの各ステージに合わせたリハビリを提供している。その法人内の各機関がICTやAI、センサーを活用して切れ目なく情報共有・連携し、患者・利用者の状態を予測・把握しながら在宅復帰につなげている。

「イルアカーサ」は、2014年に開設した入所定員1000人、通所リハビリや訪問リハビリも提供する老健施設。施設名はスペイン語で「家に帰ろう」という意味で、その名の通り、病院などから入所した高齢者が早期に自宅へ帰れるようリハビリや医療・介護を提供する「超強化型老健」だ。月平均10人ずつの入退所がある。社会医療法人慈生会は、急性期の等潤病院を母体に、回復期リハビリ棟、地域包括ケア病棟、老健施設、訪問・通所リハビリ、地域包括支援センターなど医療・介護サービス事業を運営。提唱する「トータルヘルスケア」の基盤として、医療機関の電子カルテシステム、介護施設・事業所の介護カルテシステムの患者・利用者情報を一つのIDで管理する独自のネットワークを構築している。



イルアカーサのリハビリ職(前列3名)と介護職、事務の皆さん

ICTやAIで法人内連携 超強化型の在宅復帰機能を発揮

介護老人保健施設イルアカーサ

面会制限だけでなく、入所者の居宅訪問、法人内の事業所同士も対面でのやりとりがでなくなってきたため、介護職やリハビリ職を含む全職種にiPhoneを支給。入所者のリハビリや生活の様子を動画や写真で撮影し、法人内事業所や、家族、外部のケアマネに説得力を持って伝えることが、自

宅へ帰る際のスムーズなサービス調整ができたという。

通所リハビリでは2024年から、歩いている姿をスマホで撮影すると歩行を点検し、未来の状態予測、改善のための運動などを1分程度で示す筑波大学監修の歩行解析AIアプリ「リハケア」を導入。「リハビリテ」も導入。通所リハビリを行うリハビリ室は横に長く、お風呂がフロアの片側の端にあるため、リハビリや入浴などで評価し

「入所して3日前にその人の動作を確認し、リスクも共有できるのが利点です。状態が見える化」されるので若手のセラピストの学習ツールと



「リハケア」の結果は利用者にも共有

屋上農園で利用者も腕を伸ばして収穫



2年前からはインカムも導入。通所リハビリを行うリハビリ室は横に長く、お風呂がフロアの片側の端にあるため、リハビリや入浴などで評価し

「楽しんでリハビリをやってもらうために一生懸命考えています。介護分野はその人の生活に丸ごと関わるので、PTだから歩行訓練や可動域訓練だけではないです」とリハビリ主任で理学療法士の福田匠さんは笑う。

入所フロアでは、パラマウントベッドのシート型センサー「眠りSCANN」を、20年に100床全床に導入。睡眠時の心拍数や呼吸数などのデータに基づき介護職が個別ケアや着取りを提供しているが、リハビリ職もデータを「見たい」という利用者の意欲が、生きた動作を引き出しますね」連携と共有、効率化と生活感が適度なバランスで共存するリハビリ現場だ。

り、平均入所8カ月で利用者を在宅へ帰しているイルアカーサだが、効率化一辺倒ではない。アクティビティと一体的に提供するリハビリには手づくりの温かみがある。

例えば「ぶどう狩り」。ぶどうの実や房を利用者が紙で作って、それをネットを張ってぶら下げ、車いすに座った状態から手を伸ばして収穫する。ステンドグラス風の塗り絵など多様なアクティビティを施設のPTやOTが企画から担っている。

「楽しんでリハビリをやってもらうために一生懸命考えています。介護分野はその人の生活に丸ごと関わるので、PTだから歩行訓練や可動域訓練だけではないです」とリハビリ主任で理学療法士の福田匠さんは笑う。

屋上農園では園芸活動も。収穫期には、リハビリ職が利用者の体を支えた上で、さつまいもなどを掘ってもらう。「リハビリ室で行うリハビリ訓練以上に、体や手を前に伸ばすことができるんです。『やりたい』という利用者の意欲が、生きた動作を引き出しますね」連携と共有、効率化と生活感が適度なバランスで共存するリハビリ現場だ。

適切なケアマネジメント手引き解説でセミナー
 12月17・20日に無料配信

日本総合研究所は12月17日と20日に、「適切なケアマネジメント手法」の手引きその3の解説セミナーをYouTubeで無料配信する。厚生労働省はケアマネジャーやケアマネ事業所、他の専門職、自治体職員などに対し参加を促している。

「適切なケアマネジメント手法」の手引きその3は、同研究所が昨年度の老人保健健康増進等事業の一環として作成。脳血管疾患や大腿骨頸部骨折など高齢者に多い5つの疾患別ケアの解説と、その活用事例を通じた多職種連携のポイントや取り組みのイメージを紹介している。セミナーでは、適切なケアマネジメント手法の活用方法や、疾患別ケアの各項目などを解説する。

12月17日午後6時～8時、20日午後1時～3時の開催で、いずれも内容。申し込みは不要で、YouTubeで配信する(厚労省HPに掲載の「介護保険最新情報vol.1434」にURL掲載、後日アーカイブも公開予定)。参加費無料。問い合わせは100860-care@mji.co.jp。

変わりゆく時代のケアマネジャー応援誌

月刊ケアマネジメント 11月号

好評発売中

特集 **癒します!ケアマネさん**

ケアする人をケアする 研究者の視点
 あなたの疲れはどこからきている? ストレスを整理し最適なケアを
 執筆 ▶ 吉田輝美氏 ◎ 名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 教授

本音で座談会「ケアマネのストレスと解消法」
 利用者の自立支援がしたい! ジレンマを吐き出せる事業所の包容力
 取材協力 ▶ 南大井第二在宅介護支援センターのみなさん

瞑想でリラックスタイム
 自分を知ると、他者が分かる セルフケアが拓く利用者へのケア
 取材協力 ▶ 木下大樹氏 ◎ 飛騨千光寺 長老、和歌山県立医科大学 准教授

法解釈に困ったら、すぐ「聞ける」

法令データベース
 時短と安心を両立する 介護保険法のデータベース

介護保険さがせる net
 一介護報酬・運営基準一

質問の回答 + 根拠法令 をお届け!
 他にも 法令 解釈通知 厚労QA を横断的に

加算要件に関することなど
月5回まで